

## 群馬の公園・朝鮮人追悼碑

### 許可取り消し請願へ

#### 救う会「代表、総連から寄付」

群馬県高崎市の県立公園「群馬の森」に設置された朝鮮人追悼碑をめぐる、北朝鮮拉致被害者・家族の支援組織「救う会・群馬」

が、県議会に設置許可の取り消しを求める請願書を近く提出することが2日、分かった。碑を設置した「追悼碑を守る会」の共同代表

を務める民主党の角田義一元参院副議長が、在日本朝鮮人総連合会（朝鮮総連）の関連団体から寄付を受けていたことなどが理由としている。

救う会によると、請願書には「守る会」が同公園内で日本政府を批判する集会を開き、県と守る会が設置時に結んだ「政治的行事および管理を行わない」とした設置許可条件に違反しているなどが盛り込まれる予定。救う会関係者は「朝鮮総連は人権侵害を否定し、『拉致問題は解決済み』とする現体制を支持している。守る会は、朝鮮総連が主体となっているのではないかと疑念を呈している。

問題の碑は「追悼碑を建てる会（現・守る会）」が平成16年に県の許可を受けて設置。今年1月31日が許可期限だったが、守る会が政治的に利用している疑いがあるとして、県は許可の更新を保留している。